

第450号

主な記事

1面	被災会員アンケート結果報告① 民主主義が崩壊 秘密保護法は即刻廃止に
2面	保団連定期大会 東北ブロック会議開催
3面	保団連定期大会 寄稿 消費税率引き上げの予測
4面	県の医療費助成制度 償還払い、その他の事例や患者さんからの声(抜粋)、知っていますか? [ほじょ犬]、保険医 休業保障共済保険の引当金受取人について



発行所

岩手県保険医協会

〒020-0034

盛岡市盛岡駅前通15-19

TEL 019-651-7341(代)

FAX 019-651-7374

発行人 箱石 勝見

http://www.i-hoken-i.org

購読料 年2,400円(〒別)

会員の購読料は会費に含まれています。

東日本大震災から3年 皆疲れ切っている

被災会員アンケート結果報告①

通院が困難

当会では東日本大震災で被災された会員の先生方に、震災から3年が経過した現在の様子を伺うアンケートを行いました。その結果、患者さんで医療費免除が打ち切られた方は、痛いところだけの治療を希望したり、仮設に住んでいる方は、交通の便が悪化したため通院手段がない人が多いことなどの問題が多々あり、復興には程遠い状況が伺えました。

被災地の経済力も低下

被災者の医療費窓口負担の免除について、継続させるべきは15名、打ち切るべきと回答した先生は2名でした。免除期間に多くの医療機関を受診する患者さん

の課題として、資材や人件費の高騰、二重ローンの解消や復興工場の迅速化、復興の遅れによる人口減少が挙げられ、加速する人口流出に危機感を抱いている先生も多かったです。

もいらつしやいですが、多くは経済的に厳しく、無職の方もおり、被災地の経済力も低下しているとの指摘もありました。また、通院も困難な状況で受診抑制傾向にあることから、免除継続は必要と考えられます。

この度、アンケートにご協力いただいた先生におかれましては、被災地の生の声をお聞かせいただき、誠にありがとうございます。国や県への要請等、今後の活動の参考にさせていただきます。

被災会員アンケート集計結果① (回答数 18 件)

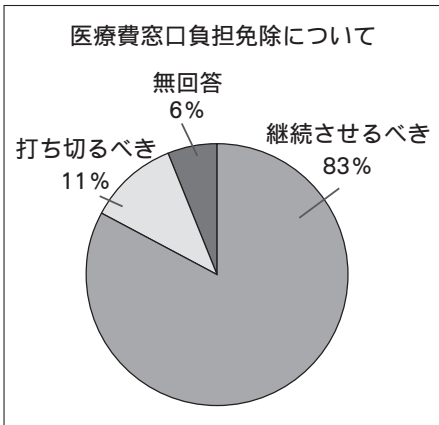
(その他の結果につきましては次号に掲載致します)

- 患者さんの様子や患者さんからの要望等について。
 - 医療費免除が打ち切られた方は、痛い歯だけの治療を希望される事がある。
 - 放射能汚染への対策。
 - 患者さんは、心が元気になってきたように思います。
 - 仮設にいる間は、一部負担金を免除して欲しいとの声が圧倒的。
 - 通院のための手段が無い人が多いです。バスも1日1本のみ(無料)。
 - 震災前と比べて、老化、体力の低下などが進行している様に感じる。経済的余裕が感じられない。
 - 仮設に住んでいる方が多く、通院が大変。診療所周囲の住民が戻ってきていない。

2. 被災された国保と後期高齢者医療の方の医療費窓口負担免除について

◎ 継続すべき理由

- 生活の中での経済的負担が大きいため。(震災後、二重ローンや住宅建設など)
- 医師不足。
- 社保のみ負担ありは不公平に感じる。
- まだ免除制度を使われていない患者が多い。
- 社保もぜひ免除継続して欲しい。患者が受診を控える現状が多い。
- 仮設入居の高齢者が多い。
- 仕事が無いので収入がない。
- 街の復興プランがなかなか進まず、国の援助も十分とはいえず、被災地の経済力も低下して、真の復興はまだまだである。



◎ 打ち切るべき理由

- それぞれの個人が自立して、医療にかかるようになって欲しい。免除だと自分のお金がかからないので、いろいろな医療機関にかかり過ぎる。

3. 復興や今後の地域医療における課題

- 二重ローンの解消。代替地などの整備の進行。(補助金の期限の延長)
- 申請のスピード化。物資の提供(消耗品や使用している備品(電動麻酔器など)を会員に情報提供してもらいたい)
- 住民の自宅再建。
- 予防の意識を高めること。医療費の削減にもつながる。
- 復興工場の迅速化。(皆さん疲れきっています)
- 建築材料の高騰や人件費の高騰による建築費の上昇により、補助金は焼け石に水。自宅の再建が進まず、地価の高騰もあり、人口の流出が止まらない。
- 復興の遅れによる人口の減少。
- 地域の要望を温かい気持ちで、手厚く、スピード感をもって支援していく国や行政の姿勢が大切。

民主主義が崩壊
秘密保護法は即刻廃止に

2月8日、岩手教育会館で「秘密保護法」廃止へ!岩手県民集会が開かれ、小雪の舞う中、500人が参加しました。



盛岡市内でアピール

東京慈恵医科大学教授・憲法学専門の小沢隆一氏が「戦争ができる国にさせないために、今、私たちは何をすべきか」と題して講演。小沢氏は秘密保護法の狙いはアメリカ

とともに「戦争できる国」になるための情報統制であり、国家安全保障会議(日本版NSC)や集団的自衛権の容認で憲法9条を突破しようとしていること、安倍首相が語る集団的自衛権の解釈や特定秘密保護法は理屈が通っておらず、「稀代の悪法」であり、一日も早く廃止することが大事だと話しました。

その後、参加者は盛岡市内をデモ行進し、市民にアピールしました。

・ 民主主義の崩壊を食い止めなければならない。これ以上政府に勝手なことをさせてはだめ。国民の政治無関心を改め、もっと勉強して自分の意見を声に出さなければならぬと思う。

参加者の感想

・ 今はまだ原発作業員の声も私たちに届くのでそれが妨げられるような事態に陥らないようさらに伝え、学習を進めたい。

・ かなり多くの方が集まったことに、この法への怒りを感じた。でもほとんどの人(国民)は関心がないよう。一体どういう国になるうとしていくのか...

・ 一内閣の勝手な思いで私たちの暮らしが脅かされてはたまらない。安倍氏の焦り、空回り、より追い詰めなければ!

鉞のひびき

昨年11月職員達とサイパンに行ってきた。「お気楽な慰安旅行」と思われるだろうが自分にとっては大きな意味があった。

戦時中まだ中学生だった父は志願兵としてそこにいた。体調を崩した父は上官命令で本土に帰還させられ、その後まもなくサイパンは米軍により陥落した。多くの日本兵や現地在住の日本人が戦死したり、バンザイクリフ等で絶命した。もし、父が本土帰還させられていなかったら自分はこの世に存在していない。

サイパンには多くの「戦争遺跡」がある。日本軍の最後の司令部があった「ラストコマンドポスト」にある戦車の残骸、観光潜水艦から見える撃沈された日本船やゼロ戦の残骸などである。それらを自分たちの目で見て命や平和の大切さを感じ取って欲しかったのが僕の真意である。母も年をとり、この先遠出もなかなか難しいだろうと思いつつ一緒に連れて行った。母は父の遺影を連れて行った。

私は歴史家ではないが、日本人に反米感情がほとんどないのに比べ、中韓の人々にこれほどにも強い反日感情があることから推察するに、それなりにかつて日本人に蛮行があったのは否めない。戦中世代の方々が亡くなりやがては戦後世代だけになるのであるが、真の歴史を我々は直視し、次世代のためにも真の友好関係を諸外国と築いていく必要があると感じる。

(田村)

被災地に満ちる嘆息

保団連定期大会

1月27日、東京の都市センターホテルにて第46回保団連定期大会が行われ

れました。当会からは箱石会長、小山田、南部各副会長、事務局長が出席しました。

はじめに住江

保団連会長が

「2000万人の非

正規労働者の内

1800万人が

200万円以下の

年収であり、東日

本大震災の被災者

27万人が未だ避難

生活を続けている

という、ますます

の格差と貧困の拡

大に政治がどう立ち向かうかという情勢なのだが、安倍首相は、消費税増税、生活保護や年金の削減、プログラム法案、特定秘密保護法など、ますます格差を拡大し、国民を疲弊させる政策を打ち出している。国民の生活や社会保障を守るとい立場で旺盛な議論をお願いしたい」とあいさつしました。

大会では、2014年度の予算の他、次期保団連役員選任の件や大会決議など全ての議案が賛成多数で可決されました。

《岩手協会からの発言通告に対する答弁》

●「被災地に満ちる嘆息」東日本大震災被災者アンケート(第3回結果より)

南部副会長口頭発言 (答弁:住江会長)

被災地に満ちる嘆息 結果より 南部 淑文

●「被災地に満ちる嘆息」東日本大震災被災者アンケート(第3回結果より)

「待合室から医療をまもる」活動を

東北ブロック会議開催

2月2日、仙台のホテル法華クラブにて第113回東北ブロック会議を行いました。当会からは小山田副会長、佐藤常任理事、事務局が参加し、東北各協会、保団連

よりあわせて19名が参加しました。

これからの課題

小山田保団連理事(当会副会長)より、医療情勢と大会終了を受けての保団連の活動報告がありました。通常国会で予定されている医療、社会保障の諸改悪の内容、診療報酬を巡る情勢や内容などが報告され、当面の運動対策として、診療報酬引き上げを通常国会中に求める取り組みや、従来

から保団連が提唱している「待合室から医療をまもる」運動のさらなる推進などが提起されました。

出席した佐藤常任理事からは、被曝問題について保団連での進捗状況や厚労省に調査をさせる運動の提起、保団連CM作成について意見が出されました。保団連では、各専門部の情報等を統一し取り組むべく被曝問題連絡会を立ち上げたこと、乳歯のストロンチウム分析について検討を行うこと、次回夏季セミナーに

おいて、被曝問題に関する分科会を設置し、さらなる学習に努めていくことが回答されました。また、福島協会からの発言も受けて、住民各々の判断で生活しているという感情も考慮した方針を考えていきたいとも述べられました。

午後からも、医学部新設に関する意見交換や、宮城による個別指導の選定の情報開示請求における不服審査請求の顛末、各協会の活動交流内で、宮城協会から、各協会における公害対策部の設置と連携の呼びかけ、青森協会から、さようなら原発・核燃3・11青森集会への募金の呼びかけがありました。

●「遺伝子組み換え食品にもっと関心を！」箱石会長文書発言 (答弁:野本理事)

また、被災者の健康について調査した県は、「地域によってBMI(肥満度)、血圧、脂質異常、肝機能の数値が上昇している」と結論付けました。そして「この要因は、食べ過ぎやアルコールの飲み過ぎ、喫煙、過度なストレスがあると考えられる。今後も、食生活・運動習慣の改善のための保健指導などの支援を継続していく」としており、被災者の健康悪化が進

また、被災者の健康について調査した県は、「地域によってBMI(肥満度)、血圧、脂質異常、肝機能の数値が上昇している」と結論付けました。



東北ブロック会議のようす



箱石会長(左)と南部副会長(右)

技工士問題や医学部新設に対して

協議では、技工士問題についての意見交換も活発に行われ、各地での取り組みや技工士アンケートの内容等の紹介があり、東北での共同アンケート

さて、東日本大震災からもうすぐ3年目を迎えますが、岩手県の仮設入居率は87・8%と依然として高い状況であり、復

興はほとんど進んでいません。被災地の実態について岩手日報社が昨年11月から12月にかけて行った調査では、「復興はどの程度進んだと感じるか」の問いに、沿岸住民の回答は「20〜30%」が33・8%と最多で、「10〜20%」(31・6%)、「30〜40%」(10・5%)と続きまし

また、被災者の健康について調査した県は、「地域によってBMI(肥満度)、血圧、脂質異常、肝機能の数値が上昇している」と結論付けました。

また、被災者の健康について調査した県は、「地域によってBMI(肥満度)、血圧、脂質異常、肝機能の数値が上昇している」と結論付けました。

寄稿

消費税率引上げの予測 (後篇・歯科)

税理士 奥津年弘 (東京あきば会計事務所)

歯科の場合

前回の医科に続き、今回歯科を中心に触れていきます。今回の歯科医院は、自費診療収入が840万円で、免税事業者という設定です。経費等の増額を推計してみました(別表参照)。

前提としては、自費収入は、増税率分だけ引き上げましたが、保険点数は変わらないとしました。この場合ですと、8%で現在の利益より30万円減少し、10%で現在の利益より48万円減少します。

ゆえに、保険収入が、年間収入で同額上がらなければペイしません。率にして8%時は、30/3700 = 0.81%、10%時は、48/3700 = 1.3%となります。

初診料・再診料が上がっても

2月5日の中医協では、消費税8%への対応として、歯科は、初診料を160円、再診料を30円それぞれ引き上げる案で決着し、13日には、改定案を厚生労働大臣に答申しました。この引上げ案はどのようなものでしょう。

別表の歯科医院の規模ですと、例えば、1日保険診療の患者さんが平均20名ほどだと思えます。内訳として初診3名、再診が17名いるとします。初診3名160円×3 = 480円、再診17名30円×17 = 510円、合計990円。1か月22日稼働として990円×22 = 21,780円、1年で261,360円の収入増にしかありません。別表の8%時の利益減少額が30万円ですから、とても消費税分をカバーしているものといえません。

今回の診療報酬改定は、全体で0.1%のプラス改定とうたっていますが、消費税増税分1.36%を除くと、実質1.26%のマイナス改定となっているからです。

自費の転嫁の難しさ

今回の別表のケースでは、消費税の課税事業者でないという前提ですが、自費収入が税込で1,000万円を超えれば課税事業者となり、税抜1,000万円の収入で、簡易課税方式で5%時25万円、8%時40万円の納税です。現在課税事業者ですと、15万円の納税額の増加となります。

今後、消費税率が引き上げられた場合、自費にすんなりと転嫁できるでしょうか。消費税法は、消費税増税分を必ず「転嫁」することまで法律で定めているわけではありません。最終的な患者さんに提示する価額に消費税が「含まれているものと見なす」制度です。歯科医院間の価額競争では転嫁できず税込収入は増えず、納税額の負担だけが膨らむ恐れがあります。

膨らむ経費

レセコン又はユニットなどを更新する場合、たとえば税抜200万円に対し税率

(単位:万円)

Table with 5 columns: 収入, 5%, 8%, 10%. Rows include 保険収入, 自費収入, A 収入合計, 原価と費用, 材料費, 保険技工料, 自費技工料, 人件費, その他の経費, B原価と費用合計, A-B 利益, C利益減少額, D納税増額分, C+D負担増の合計.

5%では10万円の消費税でしたが、8%では16万円、10%では20万円と引上げによって、6万円、10万円の消費税負担が増大します。とても初診料・再診料の引上げではおいつきません。さらに、前回もお話しましたが、人件費も昇給要望が強まりますし、課税対象外経費(歯科医師会・学会などの諸会費・保険料など)も消費税という物価上昇に伴い値上げとなります。

収入の増加策や経費の効率的支出など一層の経営努力が必要とされます。

国民生活は厳しく

今回、患者さんの自己負担額も増えます。通院も歯科医院のみではありません。生活必需品も値上がりし、その他、復興特別所得税の増税、勤労者の厚生年金保険料の引上げ、年金の支給額の減額も昨年より行われています。勤労者給与が2~3%以上あがらなければ可処分所得(手取り)はマイナスになるといわれています。税率引き上げ後の国民生活は、厳しくなりますし、内需が伸びなければ、経済状況も本当に好転しないと思います。8%から、もとにもどせとの引下げの声も必要になるでしょう。

窓口負担免除にかかる財政支援について、国は8割分の補助に止めており残り2割は県と市町村でまかなっています。しかもそれは免除の額が窓口負担全体の額の3%(後期高齢者医療は1%)を超える市町村に限られており、それ以下の市町村においては国の補助が全くありません。医療保険制度は国の制度であり、国の責任にお

いて免除するべきです。また、社会保険の被災者の窓口負担免除も早急に復活させるべきです。国会でも取り上げられる機会が激減している中、引き続き全国の皆様のご支援をお願い致します。

遺伝子組み換え食品にもっと関心を！ 箱石 勝負

昨年一昨年も米映画「モンサントの不自然な食べもの」上映会が各地で開催されている。遺伝子組み換え(GM)食品と殺虫剤を武器に、食の安全、環境、農業従事者をグローバルに蹂躪していく、アメリカの大企業モンサント社に関わるドキュメンタリーだ。しかし、新聞報道のGMに対する姿勢は、故意なのか、慎重なのか、能天気だ。2013年8月23日毎日新聞「くらしナビ ライフスタイル」で、GM作物を、殺虫剤なしで栽培できる、干ばつにも強い、とのみ紹介している。GMトウモロコシには、特定の害虫を殺す細菌「バチルス・チューリンゲンシス(Bt)」のたんぱく質を作る遺伝子が組み込まれているが、Btたんぱく質は人には無害とまで言い切ってい

(2面より続く) 一方で、社会保険の方においては2012年2月に国の免除が打ち切られ、同年10月より負担が発生しましたが、上記のアンケートでは、打ち切り後に「これまで通り通院した」と回答した方は53.2%にとどまりました。寄せられた意見にも「同じ被災者なのだから、社保も免除して欲しい」との声が多数ありました。打ち切りについて厚労省は「収入がある」ことを理由にしていますが、被災地においては、臨時雇用や低賃金の仕事の割合も多く、その上、被災した住宅ローンの支払いや、新たな住宅建設への資金確保等も考えれば、窓口負担の支払いは重い負担となります。

昨年一昨年も米映画「モンサントの不自然な食べもの」上映会が各地で開催されている。遺伝子組み換え(GM)食品と殺虫剤を武器に、食の安全、環境、農業従事者をグローバルに蹂躪していく、アメリカの大企業モンサント社に関わるドキュメンタリーだ。しかし、新聞報道のGMに対する姿勢は、故意なのか、慎重なのか、能天気だ。2013年8月23日毎日新聞「くらしナビ ライフスタイル」で、GM作物を、殺虫剤なしで栽培できる、干ばつにも強い、とのみ紹介している。GMトウモロコシには、特定の害虫を殺す細菌「バチルス・チューリンゲンシス(Bt)」のたんぱく質を作る遺伝子が組み込まれているが、Btたんぱく質は人には無害とまで言い切ってい

同じく毎日新聞2013年10月22日「中南米の乱 第6部・アルゼンチン編」では、モンサント社の除草剤「ラウンドアップ」の深刻な人体への影響を報じてはいるが、これを散布しても枯れないように遺伝子組み換えされた大豆の害については、実証されていないからとでも言うのか、言及を避けている。遺伝子組み換え食品の害については、諸々の刊行物に譲る。アメリカは先進国で唯一、表示義務がなく、その点からすると巨大な人体実験場だと言っている。これに対して、現在、世界では35カ国が輸入を規制または全面禁止措置中である。原爆症、水俣病、イタイタイ病、サリドマイド等列挙するまでもなく、日本政府には患者認定が遅れるという困った体質があった。根拠が不十分、認定の条件が不備などという議論に翻弄され、言われなき被害者に追い打ちをかけたという前科がある。これらの食品が危険だと認定される時は、事態がかなり進行してからであろう。保団連としても、わが国にGMによる犠牲者がでる前に、何らかの行動を考える必要性はないか。

県の医療費助成制度 償還払いで

「定期的な受診に来ない」が多数

会員の先生方に1月から2月にかけてご協力いただき... 償還払いの制度について...

◎この3年程度で「償還払い」で診療に支障を来たした事例はございますか？(複数回答可)

Table with 4 columns: 医科, 歯科, 合計, and 5 rows of survey data.

◎県は現物給付を導入すべきだと思いますか？

Table with 5 columns: 医科, 歯科, 計, 割合, and 4 rows of survey data.

県医療費助成制度の現物給付を求める 市町村議会請願採択状況 (2014年2月26日現在)

- 2012年12月議会 (陳情) 西和賀町議会、野田村議会
2013年6月議会 洋野町議会、矢巾町議会、陸前高田市議会、八幡平市議会、一関市議会
2013年9月議会 岩手町議会
2013年12月議会 平泉町議会、軽米町議会、一戸町議会、滝沢村議会
以上、採択12議会
2014年3月議会に提出予定 盛岡市議会、花巻市議会、北上市議会、遠野市議会、雫石町議会

県では子どもや障がいのある方などに対して医療費の助成を行って... 償還払いのデメリット...

道府県では窓口での支払いが決められた分だけ「現物給付」を採用... 償還払いのメリット...

現物給付は当たり前 現物給付を導入した方が良いと思うかについて... 理由として「他県では現物給付が当たり前」...

一方、「医療費助成給付申請書をレセプトに貼って申請しなければならず、電子化しているが、患者の8割以上は紙で打ち出さなければならず、事務労力もかかり何のための電子化か意味がない」...

最後にになりましたが、アンケートにご協力くださいました先生方に心より御礼申し上げます。今回のアンケートを今後の活動に生かしていきます。

★その他の事例や患者さんからの声 (抜粋) 岩手県に引っ越して来て、子どもの医療費が3カ月後にしか振り込まれない事を知って驚かれています... 他県では、現物給付は当たり前のような印象です...

◆同伴を受け入れる義務がある場所
・国や地方公共団体などが管理する公共施設
・公共交通機関
・不特定多数の人が利用する民間施設 (商業施設、飲食店、病院、ホテルなど)

知っていますか？ 「ほじょ犬」

「ほじょ犬 (身体障害者補助犬)」は、目や耳や手足に障害のある方の生活をお手伝いする「盲導犬」「聴導犬」「介助犬」のことです。

特別な訓練を受けていて、障害のある方のパートナーであり、ペットではありません。きちんと訓練され管理も行われているので、社会のマナーも守れ清潔です。だからこそ人が立ち入ることのできる様々な場所に同伴できます。

◆先生方へ
・ほじょ犬はユーザーの指示に従い待機することができるので、特別な設備は必要ありません。
・他の患者さんから苦情がある場合は、「身体障害者補助犬法」で受け入れ義務があること、ほじょ犬の行動や健康管理はユーザーが責任をもって行っていることを説明し、理解をもとめてください。

・ほじょ犬が通路をふさいだり、周りののにおいを嗅ぎ回ったり、何か困った行動をしている場合はユーザーにはっきり伝えてください。
・ほじょ犬を同伴していても、援助が必要な場合があります。ユーザーが困っている様子を見かけたら、まず声をかけたり、筆談したりコミュニケーションをとってください。



厚生労働省パンフより

現在、保険医休業保障共済会では保険医休業保障共済の包括移転に伴い、弔慰給付金受取人の確認とデータ管理作業を行っております。これまでも、加入時に指定された受取人が既にお亡くなりになり、加入時にご結婚された受取人が受取人を配偶者に変更し忘れていた、などのお申し出が事務局に寄せられておりました。お心当たりのある先生におかれましては、現在の受取人をお調べ致しますので事務局までお問い合わせ下さい。

保険医休業保障共済保険の弔慰給付金受取人について

理事会だより 1月 2014年 1月14日(火) 30日(火) 21日(火) 10日(火)
【場所】盛岡市コク生命ビル
【出席者】役員、事務局 併せて16名